



8年前

ハッキリNO!

えっ また新幹線 新駅?!

ムダにコスト	<p>元官僚</p> 	<p>将来、県内に新幹線新駅は必要だ。栗東新駅の後継プランを含め県民の議論が必要。</p>
	<p>前国会議員</p> 	<p>新幹線新駅に再挑戦する。リニア中央新幹線の開通や、北陸新幹線の米原ルート開通を展望し議論を開始すべきだ。</p>



栗東新駅は起工式を行い、派手な看板が掲げられたが中止に(2006年春)

中止になった栗東新駅の場合

駅舎だけで **240億円**
 周辺開発 **1000億円以上**

今度も同じ

県民の審判で中止になった栗東新駅。駅舎240億円、周辺開発1000億円以上が地元負担で、JRは負担なし。しかも便利にならないことが主な理由でした。事情は今度も変わりません。

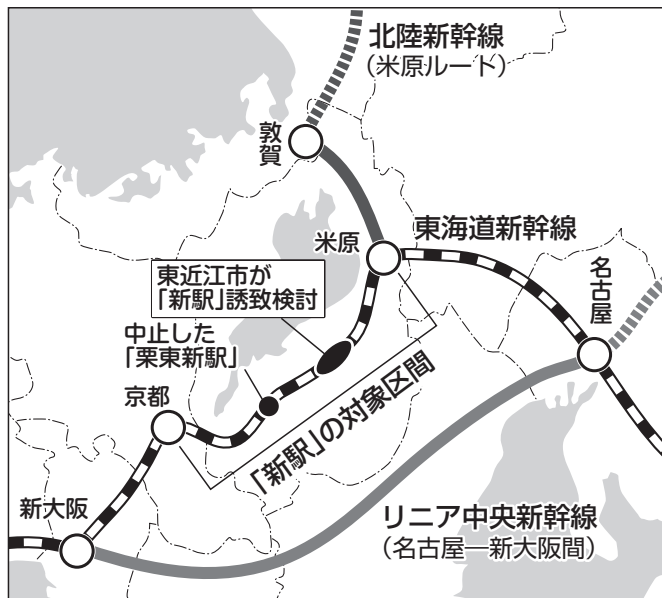


2014年7月 No.3 発行・日本共産党滋賀県委員会
 〒520-0817 大津市昭和町4-8
 電話:077-522-8210 FAX:077-522-8282
 ※上記の政策が発表されたので紹介します。

裏面をご覧ください

県民の命、暮らし第一に

ムダづかい復活とんでもありません



再燃した「新幹線新駅」と
 「北陸」リニア中央「各新幹線」

8年前、「税金のムダづかい」と県民がハッキリ「ノー」の審判を下した新幹線新駅が急浮上しています。自民・公明の元官僚と民主の前国会議員が「推進」を言い始めたからです。既に東近江市が「新駅」誘致を検討しています。

これに対し、「明るい滋賀県政をつくる会」の代表は、不要・不急の大型公共事業に反対、「予算は県民の暮らし・福祉・教育を第一に」と主張しています。新幹線新駅は「13日の選択」の争点です。

自公・民主「推進」で急浮上